

## 第3章 保守と管理

### 3 - 1 保守と管理の重要性

ハロゲン電球はスポットライトやダウンライトなどに多く使用されており、照明効果を演出する重要な役割をになっています。

保守を怠ると寿命のきた不点灯電球の発生や器具の汚れなどによる明るさの低下など、さまざまな不具合が出てきます。不点灯の電球交換、電球交換時の器具清掃によって、初期の照明効果を保つことが出来ます。

### 3 - 2 電球交換の目安

メーカーが公表している電球の定格寿命は、電球寿命のひとつの目安であり電源電圧など実際の使用条件によって短くなる場合があります。

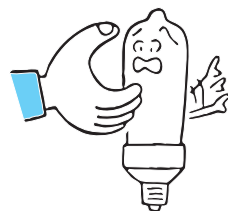
照明効果を維持するために電球交換時には器具の清掃、及び口金接点の点検をおすすめします。

ハロゲン電球の寿命は個々によってバラツキがありますが、同時期に使用を開始した電球で寿命による不点灯が発生した場合は他の電球も近い将来不点灯になる可能性があります。メンテナンス業者に交換を依頼している場合などは、一斉交換も経費削減の手段となります。

### 3 - 3 電球の交換

ハロゲン電球のガラス球のほとんどは石英ガラスです。ガラス球は、赤外反射膜を施したもや反射鏡付き以外のものは素手でさわったりした場合は失透現象を起こし、短寿命や破損の原因になります。電球交換時

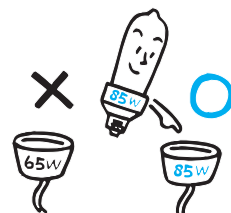
にはきれいな手袋を使用するなど注意が必要です。



ガラス球が汚れている場合は、アルコールなどで汚れを取り除いてから使用してください。汚れたまま点灯するとガラス球が劣化し、短寿命となることがあります。最悪の場合、まれに破損する場合があります。



交換する電球は器具に指定された種類・電圧・ワット数の電球を取り付けて下さい。指定より高いワット数の電球を



取り付けると、短寿命となったり破損する場合があります。また、器具が高温となり、ヤケドや器具変色などの原因となります。指定より低いワット数の電球を取り付けると所定の明るさが得られません。

注) ローボルトタイプについては、トランスに指定されているワット数でご使用ください。

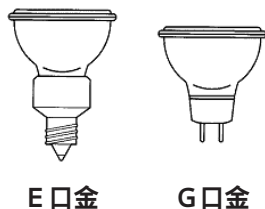
ハロゲン電球は点灯している時は高温になります。電球を交換する時には必ず電源を切り、温度が下がるまで待ってから行ってください。



えないでください。点灯している時のフィラメントは白熱して柔らかくなっています。衝撃や振動を加えると変形したり、断線し不点になることがあります。



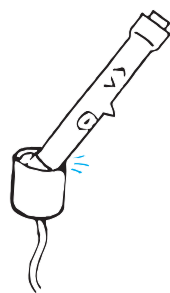
一般照明用ハロゲン電球の口金は、主にスクリュータイプのE口金、2ピンタイプのG口金と両口金形があります。2



ピンタイプの場合は、取り外すときには注意してください。ねじるとガラス球(封止部)に応力が加わり破損する可能性があります。

両口金の場合は、ソケットに電球の口金を合わせ、他方の口金がソケットに取り付けられる状態まで接点を押し込んでください。

その場合、できるだけソケットと電球が並行するようにしてください。角度が大きすぎるとソケットとガラス球が接触し、破損する可能性があります。また、確実に電球がソケットに取り付けられていることを確認してください。




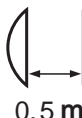
電球の交換にランプチェンジャーを使用する場合は、ソケットにしっかりと取り付けたことを確認してからランプチェンジャーを外してください。

交換に際し、ランプチェンジャーでたたいて器具の方向を調整するなど衝撃や振動を加

### 器具表示の見方

以下の様なラベルが器具に貼付してありますので記載事項に適合した使用方法及び適合したランプをご使用ください。

### 【参考】

 <b>警告</b> 火災のおそれあり 適合ランプ以外 使用禁止 被照射面との距離が 規定以下での 使用禁止	ハロゲンランプ JDタイプ 110V E11 <b>90W                  まで</b>	60  0.5 m
	<b>展示業務照明用</b>	